



会長 古賀 健一郎
副会長 古田 和彦
書記 古賀 健一郎
会計 大高 治
直前会長 古田 和彦

国際会長 (IP) Kim Sang-chaе (Korea)

Y's Men with the World” 「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長 (AP) 大野 勉 (神戸ポート)

“Make a difference beyond the 100th”

「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事 (RD) 大久保 知宏 (宇都宮)

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

“Think for the next generation”

湘南・沖縄部部长 (DG) 若木 一美 (横浜とつか)

「咲かそう 人の輪~明るく・楽しく・元気よく~」

横浜クラブ会長 (CP) 古賀 健一郎

「今こそ『すべての人を一つにして下さい』(ヨハネ 17 章)を覚え、平和への行動を！」

“Now, keeping 『All be one with each other』(John 17), Act for peace!”

監事 松島 美一
ブリテン 伊藤 誠彦
担当主事 青木 英幸

<今月の聖句>

押川 幸夫

「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」

(マタイ福音書 28 章 20)

今月のひとこと

「ロシアのウクライナ侵攻に思う」

古田 和彦



3月号「今月の一言」の執筆を依頼されていて、コロナ・オミクロン株のことにしようか、東日本大震災 11 年経過のことにしようか、はたまた、私の所属教会である横浜海岸教会の創立 150 周年関連にしようかと思ひめぐらせて

いたが、それどころではない事態になってしまった。

2月24日、北京オリンピック当時からうわさされていたロシアによるウクライナへの軍事侵攻が始まった。圧倒的に優勢なロシア軍はウクライナの各地に侵攻し、(これを書いているのは3月3日だが)首都キエフの陥落も目前に迫っている。

停戦交渉が一度持たれたが、予想通り不調であり、日を追うにつれて多くの市民が犠牲になっている。これらのことは、連日、新聞・テレビで取り上げられ、何ら攻め込まれる

理由のないウクライナに強大な軍事力で侵攻するロシアに対して、各国政府だけでなく、市民や各種団体、企業が抗議のうねりをおこしている。

緊急に開かれた国連総会では演説に立った各国大使はロシアを名指して批判し、ロシア大使の発言の際は退席する様子が写された。朝日新聞によると、国連総会のこの様子は、戦前の満州事変のあと満州国の承認を求めた日本に対し、国際連盟総会で 44 か国中 42 か国が否認したと重ね合わされることである。また、東京都は都庁建物を青と黄色にライトアップし、ウクライナとの連帯の態度を示した。伝えられているところによると、ロシア国内においても侵攻に反対する者が少なくなく、ロシア兵の士気も低いと、首都キエフの陥落

押川ワイズ 今月の聖句について

今月の聖句は、ガリラヤの山上で弟子たちと復活のイエスが出会う場面です。この山でイエスにあったのは、イエスの生前からイエスに仕えたもっとも親しい弟子たちでした。

彼らは、生前のイエスと共に生活し、救い主としてのイエスの働きを身近に目撃してきました。それにもかかわらず、この弟子たちの中に疑う者がいたのです。イエスは、それらすべてをご承知の上で、弟子たちを遣わそうとしておられるのです。その時の派遣の言葉が「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」です。イエスは、わたしたち一人ひとりに「いつもあなたがたと共にいる。」と約束してくださっています。私たちが疑おうが、不確かになろうが、生きる勇気を失いかけても、イエスは私たちと共にいてくださると宣言しておられます。3月から4月にかけて就職や転職等で期待と共に案もあるかと思いますが、そのような時にこそ、今月の聖句を思い出して、イエス様が一緒になってくださるから大丈夫という想いで過ごして欲しいと願っています。

<2022年2月例会実績>

在籍者	出席者	出席率	B F	
12名	メン 6名 メネット 0名 コメント 0名 ビジター 0 ゲスト 0名 合計 6名	58 % (メーキャップ 1名を含む) 前月修正 出席率 %	今月分 切手 0g 現金 0円 年度累計 切手 0g 現金 0円	

<3月の行事予定>

TOF

日	曜	時間	行事内容	場所
5	土	10:00	次期会長・部役員研修会	Zoom
10	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
24	木	19:00	横浜クラブ第二例会	Zoom
25	金	10:30	リーダー感謝会	

は予定通りには進んでいないとのことである。

YMCA、ワイズメンズクラブもこの事態に対して声明を出している。YMCA はロシア・ウクライナの両国に存在する。声明等には「武力衝突がウクライナの子どもたちや人々に必然的にもたらす死や苦しみを考えると、私たちは、当事者の考えが変わること、エスカレーションの停止、脅威や軍事行動の代わりに対話が行われることを祈ります」。「キリスト者として『武器を捨てて対話を』ということは大原則です。ボタン一つで世界を終わらせることができる時代に、紛争の前線に送られる若者たちの背景は、強い国も弱い国も関係なく・・・。

また、プーチンを悪者にするのは簡単ですが、世界を俯瞰してみたときに、そのような世界の構成者として、ロシアを仕立て、孤立させている責任も私たちにはないだろうかと考えさせられます。」など、両者の和解を祈り求めている記載が目につく。

私は思う。YMCA のネットワークを通して相手のために祈り、つながりを保ち、信頼関係を積み重ねていくことのみが真の平和を作り出していくことになる、その道しかないのではないかと。

「第一例会報告」

齋藤 宙也

日時：2月11日(木) 10:00~12:20

開催方法：Zoom 例会

出席者：青木、大高、古賀、齋藤、佐竹、古田

2月11日、世間では建国記念の日ということで祝日であり、今年は3連休という人も少なくない。しかし、キリスト教団体は、この日に学びの時を持つということにしているらしい。

もともと、YMCA でも、例年この日は、建国記念の日のいわばアンチテーゼとして、平和について考える日のように扱っていた。今年は、非会員が入りやすくなるように、会員大会ではなくピースフォーラムと銘打って開催することにな

った。

当クラブの2月例会ともみなされている。

またしてもコロナ禍のため、Zoom 開催となった。

礼拝の後、神奈川県ユニセフ協会事務局長の関山万里子氏の講演に入った。1時間余り、かなり濃密な内容であった。ユニセフの存在は小学校の時から知っていたし、世界にはまだまだ劣悪な環境の子供がいることは、頭の中では分かっている。しかし、出産環境や栄養失調といった予防可能な原因ゆえに5歳まで生きられない子供がいるとか、民兵組織に引き入れられ、人を殺したり虐待され、それでも民兵組織から抜け出せない子供がいるとか、武力や暴力といった解決方法しか知らないがゆえに武力や暴力が子供にも連鎖するとか、4人に1人は出生届が出されていないとか、厳しい現実が具体的に紹介された。

昨年、親ガチャという言葉が流行したが、全世界的に見ればさながら出生国ガチャとでも言うべき状況である。我が国ですら、貧しい親、暴力を振るう親、そもそも親が誰も不明など厳しい環境からスタートする子供がいる。その格差を完全になくすことは不可能であるが、子供に罪がない以上、少しでもスタートラインを平等に近付ける努力は必要である。

といっても、1人ひとりに、募金以外に即効性のある解決策を与える力は少ない。それでも、世界の子供が劣悪な環境に置かれている背景を理解し、武力や暴力を許容する世界を見放さないという努力を重ねていくことが大事であると実感した。

短時間ながらグループディスカッションをして、最後はYの活動紹介をした(主に非会員向けであろう。)

ピースフォーラムとして初の大会であったが、その名にふさわしい特別講演であった。

「第93回 YMCA—Y's 協議会報告」

古田 和彦

3月1日(火) 19:00~20:00、第93回Y—Ys協議会がZoomによるオンライン会議で開催された。参加者は20名と思われる。今回の担当は3順番では横浜とつかクラブであったが、都合により、厚木クラブが担当した。開会礼拝は安倍正伴担当主事が、次いで、同クラブの佐藤節子会長が司会・進行した。

まず、佐竹横浜YMCA総主事から挨拶。今日の議題で国際・地域協力募金が取り上げられることへの感謝、また、ロシアのウクライナ侵攻に対して世界YMCA同盟からの声明など多く発せられていることを紹介するとともに、一日も早く終息するよう願っていると話された。ワイズを代表し、小松仲史次期部長から、ワイズの第1の使命はYMCAを支えることであり、そのためにこの協議会は重要な会であること、また、平和を祈ると語られた。

次いで協議に入った。議題は一つだけ1. 国際・地域協力募金について。阿部部担当主事から、今年度はコロナ禍のためバザーや街頭募金ができない中、募金目標額も下げざるを得なかったが、なお、1月末における募金状況は未達であること、一方使途として、海外では、ミャンマー(無医村への医療)、タイ(人身売買・少数民族)、カンボジア(子どもの教育)に

おける教育・自立支援、国内の災害緊急支援と欠かせないものばかりであり、一層の協力をお願いしたいとのことで、ワイズ一同了解した。

続いて報告。YMCA から、2/11 開催のピースフォーラムについて。従来の会員大会から会員以外の人参加も視野に入れてピースフォーラムとしたこと、当日の講演は「世界の子どもたちは、いま」と題し、神奈川県ユニセフ協会事務局長関山万里子氏で好評だったこと、講演後、分かち合いの時を持ったこと、当日の参加者は 208 名との報告があった。

各クラブからは、例会の開催状況やトピックス、今後の予定などそれぞれ報告があった。横浜クラブ古賀会長からは、3/10 の例会は、当クラブが継続して取り組んでいる「横浜 YMCA と横浜ワイズのさらなる連携強化の模索 第 3 弾」として、留学生チューターについて納谷美穂さん（横浜 YMCA 専門学校職員）の卓話を予定していること、横浜クラブの事ではないが、2/26 東日本区ワイズナイトフォーラムで山田公平ワイズ（宇都宮）が、自身の経験を含め、YMCA とワイズの協力により若い人への支援の必要性を理論的に、また、熱く語られたことの紹介があった。

次回 94 回は 2022 年 6 月 7 日（火）19:00~20:30 横浜とつかワイズの担当で開催することとし、散会した。

横浜クラブの参加者：青木、大高、古賀、佐竹、古田

「近況:患いを負って」

古賀 健一郎



自身の健康を過信していた私が、コロナワクチン接種の機会に、気軽な気持ちで数年ぶりに健康診断を受けたら再検査となり、大きな病院での検査入院まで発展し、無症状で、表面上は全く元気でありながら、最終的に『十二指腸乳頭部がん』の診断を受けた時は、大きな驚きだった。早期発見であったが、ガンの箇所がいろいろな臓器の交差点の部分に位置していた為、昨年 8 月、5 つの臓器を全摘・部分切除し小腸で縫合する、9 時間もの大がかりな手術となった。術後は、傷の痛みに加え、幾つかの点滴・体調観察器具をつけられ、はりつけ状態が 1 週間も続き、生きた心地がしなかった。そこには「この苦しみから解放されたい。もうこのまま人生の旅を終えたい.....」との気持ちが脳裏をよぎる、弱い自分がいた。

10 月退院。当初は手術の影響は大きく、精神的にも、肉体的にもダメージが残り、体重も 20 キロも激減し、体力もなく食も細い状態だったが、最近は体力の回復に努め、幾つかの社会活動に復帰しつつある。

そうした中で、多くの方々から祈りと励ましのメッセージをいただき、どんなに希望と勇気を与えられたことか...。今、私はつくづく思う。『他人の病の苦しみを自分の痛みとして受け止め、少しでもその方に寄り添っていききたい...。』それは、地獄の苦しみを知った私が、多くの方々に温かく支えられ、希望の光を見出すことができた実感したからだ。

直近の国家主権と領土を武力で侵害するロシアのウクライナ進攻で、大人の利己的なパワーゲームの犠牲者となっている、未来ある幼き子どもたちの、死の恐怖に震える姿がテレビ

映像に映しだされ、悲痛な思いに至る。私たちに出来る『平和を実現する行動』を具体的に実行に移していきたいとの思いはつる。

そんな時、熊本の竹箸メーカーが、ウクライナの青と黄色の国旗柄の箸『平和への架け箸』を発売し、売り上げを同国に寄付する取り組みを始めたことを知った。ロシアによるウクライナ侵攻に経営者は心を痛め、従業員と話し合い「まるで 20 世紀以前のような力による現状変更を見過すと、いつか自分たちの身にも同じことが降りかかりかねない。企業人として平和に尽力したい」と製造を決めたそうだ。ウクライナ国旗の青は空、黄色は実り豊かな小麦畑を表すとも言われ、『平和』や『食』につながる。「平和だからこそ置きなく箸を使って食事ができ、暮らしの道具である箸作りもできる。購入した人に、食事を通じて当たり前の日常の大切さを感じてもらえれば」と経営者は話される。このことに強い共感を抱いた私は、早速購入を決めた。

今年度の横浜クラブ主題は、『今こそ、「すべての人を一つにして下さい」（ヨハネ 17 章）を覚え、平和への行動を！』とした。これはワイズの国際聖句でもある。私たちが、不一致、分断や分裂の厳しい現実の世界を生きている今こそ、皆でこの主題にしっかりと立ち戻りたい。

「ピースフォーラム報告」

青木 英幸

2 月 11 日（金・祝）にオンラインにて「ピースフォーラム ×SDGs16 平和と公正をすべての人に」（主催 横浜 YMCA 会員事業委員会）を開催されました。このフォーラムは、YMCA の活動の場・ボランティアの機会の紹介、国際・多文化共生、人権、平和について参加者とともに考え、より良い地域や社会を創ることにつなげていこうと行われました。

開会では、工藤誠一理事長から「参加の皆さまとともに YMCA の理解を深め、学びと交流を通して平和への願いを広く発信していきましょう」とメッセージがありました。

続く特別講演会では、神奈川県ユニセフ協会関山万里子事務局長を迎え「世界の子どもたちは、いま」～子どもの「いま」とその「権利」を守ることが持続可能な世界の礎になる～をテーマに、神奈川県ユニセフ協会の取り組みの紹介や子どもたちの現状、子どもの権利、大人の役割などが伝えられました。講演会後には、参加者によるオンライングループディスカッション、横浜 YMCA の活動紹介、ボランティアからのメッセージやボランティア募集などの情報提供がありました。

最後に佐竹博総事が「日本の社会・地域にも小さくされている危険にさらされている子どもたちがいることに気付いて支援していくことができ、そうならない社会を創っていき



★ 強い義務感をもとう 義務はすべての権利に伴う ★

と思います」と話し、ピースフォーラムの準備・運営を担った会員事業委員に感謝の言葉を述べました。当日のアクセスは193件あり、平和についての学びと、誰ひとり取り残さない社会の実現のために何ができるかを考え共に深める機会となりました。

第二例会報告

大高 治

日時：2月24日(木) 17:00~18:00 (Zoom 例会)

出席者：青木、伊藤、大高、古賀、古田、
行事予定の確認

1. 4月末までの予定を確認；追加、変更事項は以下の通り
 - ・3月24日(木)3月第二例会 19:00~に変更
 - ・3月25日(金) リーダー感謝会オンライン、10:30~12:00を追加

2. 協議・報告事項

- (1) 横浜クラブ第一例会 3月・4月の卓話者；横浜 YMCA との連携強化 3・4弾として
 - ・3月；納谷美帆様 (国際情報ビジネス科、日本語学科の広報、留学生のチューターを担当)
 - ・4月；池田直子様 (総主事室広報 IT 主査)
古賀会長が当人の意向を確認することになった。(その結果、卓話は引受けて頂けたが、4月は多忙につき、次月以降となる予定)

(2) 次年度のクラブ役員

- ・会長；古賀—3期連続。過去3期連続の例があるが、4年連続はないことを前提とする
- ・書記；古賀兼務、・会計；大高、・ブリテン；伊藤

(3) ブリテン 3月号編集計画の確認

- ・毎月発行しなくとも良いのではないかと意見が出たが規約上からも毎月発行が原則であることを確認した。
- ・ブリテン編集委員：現役員 (伊藤、大高、古賀、古田) に秋元ワイズにも加わって頂く。(古賀会長が意向を確認した結果、喜んで引受けて下さることになった)

(4) 東日本区メネット献金

- ・当クラブの会員でもある佐竹総主事が立ち上げた子供たちに絵本を送る運動で、横浜 YMCA の子供たちも対象になることから、5,000円を送ることにしたい。来月の第一例会の後、東日本区メネット担当に送金する。

(5) 東日本区各種献金

- ・ユース活動支援を含め、当クラブの伝統により満額 97,800円を献金しました。ユース活動支援は従来のロースター広告にかわり新設された。



担当主事 青木 英幸

3月に入り専門学校では卒業式準備を進めております。今年度は2年ぶりに神奈川県立音楽堂にて3月22日(火)に横浜 YMCA 専門学校 4校合同卒業式を開催する予定で準備を進めておりましたが、3月6日(日)迄のまん延防止等重点措置の期間が延長される可能性があるため、各校実施に変更いたしました。当日は卒業生のみ参加とし、オンライン配信を併

用して卒業礼拝・卒業証書授与式を行う予定です。なお、卒業式の1週間後に開催予定の入学式も各校実施へ変更し準備を進めております。

2月25日(金)に本校日本語学科の「日本語発表会」を実施しました。昨年度は中止となりましたが、今年度は事前に6クラス分の動画撮影を行い、当日オンラインにて配信し、教室にて同時視聴を行いました。司会進行を学生が担い、日頃学んでいる日本語を用いて、出身国紹介をしたり、アニメをテーマとした寸劇を行ったりと6クラスそれぞれ趣向を凝らした内容を発表しました。

最後に1月下旬に一般社団法人神奈川県専修学校各種学校協会横浜支部主催による「第33回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」に出場したピエト モリン ソレン セシリアさん (フランス) とチン ハイキさん (台湾) が模範スピーチとして発表を行い、会を閉じました。

3月25日(金)10:30-12:00に「横浜 YMCA リーダー感謝会」を開催いたします。今までは各 YMCA で行っていたものを、「①横浜 YMCA で活動するジュニアリーダー・ユースリーダーに日頃の感謝を伝える場とする。②事業を超えたユースの交流を図り今年度の振り返りの場とする。③就職などで YMCA 活動を卒業するユースを表彰する場とする。」という3つの目的を持ち、横浜 YMCA 全体のリーダーが集い実施いたします。詳細が決まり次第、皆様にご案内いたしますので、よろしくお願い致します。

3月例会プログラム

日時：3月10日(木) 18:00~20:20
場所：Zoom 開催

司会：伊藤ワイズ

1. 開会点鐘および挨拶・・・・・・・・古賀会長
2. ワイズソング・ワイズの信条・・・・ 全員
3. 今月の聖句・・・・・・・・・・・・・押川ワイズ
4. ゲスト・ビジターの紹介・・・・・・古賀会長
5. 卓話 「横浜 Y 学院専門学校のチューターについて」
納谷美帆氏 (横浜 Y 専門学校職員：国際情報ビジネス科、日本語学科広報と留学生チューターの担当)
6. ビジネス・報告・・・・・・・・・・古賀会長
Happy Birthday 秋元美晴、遠藤三起子、古賀智子、古田和彦

例会報告：秋元 美晴

4月の行事

日	曜	時間	行事内容	場所
14	木	18:30	横浜クラブ第一例会	Zoom
28	木	17:00	横浜クラブ第二例会	Zoom

当ブリテン及び横浜ワイズメンズクラブに関するお問い合わせは、YMCA 青木英幸にご連絡下さい。

メール aoki_hideyuki@yokohamaymca.org
電話 045-661-0080